

## 国家資格キャリアコンサルタント過去問題 第31回解答例

概要：相談者は結婚という転機に現在の仕事を続けることで、将来家族を養っていけるのかと不安を持つようになった。人間関係もよく制度も整っているが、休日や時間外対応で精神的な負担も感じている。役職と給料が上がるのがいつになるか分からず、目の前の数年間が思い描けない。安易な転職はよくないと思うが続けるべきか分からなくなり相談したい。

**【設問1】事例記録の中の「相談の概要」〔略A〕の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。（10点）**

**【解答例】**

結婚の準備段階で、現在の仕事にはやりがいと良好な職場環境を感じているが、家族との生活設計や収入面への不安から、現在の会社で働き続けるべきか、安易な転職は良くないが、給与条件の良い仕事へ転職すべきか相談したい。

**【設問2】事例記録の〔下線B〕について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。（10点）**

**【解答例】**

結婚を機に、家族を養っていけるか不安を感じている相談者に対して、将来の生活や仕事についての不安の意味や、働き方の内省を深めてもらい、相談者が望むライフキャリアの方向性を考えていく必要性に気付ける意図で応答した。

**【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ（20点）2×10点 ①問題 ②その根拠**

**【解答例】**

①問題 1)結婚という転機に幼馴染との給料を比較し、将来の生活や収入について漠然とした不安を強めている。2)仕事にやりがいや職場環境の良さを感じながらも、働き方の負担から、将来の仕事や生活像が描けていない。

②その根拠 1)幼馴染の初任給が自分の当時の月給より高く、ショックを受けた。「家族をきちんと養っていけるか」と述べており、結婚後の生活に不安を感じている。2)仕事のやりがいや人間関係等良いと感じているが「休日、時間外対応で精神的にも肉体的にも負担、この先もずっとこの生活なのか」と転職も考えるが今後の働き方について迷いが生じている。

**【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。（10点）**

**【解答例】**

方針 結婚に向けて将来の生活への不安や仕事への迷いがある相談者が、仕事と生活の両面から将来のキャリアを考えられるよう支援する。まず、1)結婚後の生活や仕事における不安に感じている思いを傾聴し、信頼関係を維持しながら整理できるように支援する。その上で、2)現在の仕事に対して感じているやりがいや強み、職場環境などを振り返りながら、将来の生活設計や働き方についてどのような価値観を大切にしたいかを明確にする。さらに、現在の職場でのキャリアパスや収入の見通し、制度などについて情報を収集し、先輩や上司、結婚相手にも相談を促す。転職の可能性も含めて、相談者が将来の働き方や生活を具体的にイメージしながら主体的な意思決定ができるように支援する。